広島大学病院ファミリーハウス訪問

2022.06.20(月)15:00-16:20

広島市医師婦人会の主要事業である「広島大学病院ファミリーハウス」チャリティーコンサートは、新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020 年度より開催することができませんでした。しかし、その間、会員の皆さまのご協力とご厚情により、寄付を募ってファミリーハウスへの協力を継続して参りました。

小児がんと闘う子供とその家族のための滞在施設であるファミリーハウスについて、一層の理解を深め、今後の活動の方向性を探ることを目的として、6 月 20 日(月)15：00～広島大学病院並びにファミリーハウスを斎 直子代表と竹内が訪問いたしました。

最初に、小児科学教授・岡田賢先生を囲んでの懇談会に臨みました。広大医学部からは名越グループリーダー様、吉村がん治療センター主担当様、病院事務部の大下様、広大本部より基金主担当の松田様もご出席いただき、ファミリーハウスの現況や私共へのご要望など発信いただきました。岡田教授のご挨拶の中で、特に強く繰り返し述べられたのは、次の二点です。

・サポートを必要としている人がいるということを広報して欲しい。

・ファミリーセンターを継続して行くことが必要。

ファミリーハウスの運営は、全て寄付で賄われております。広大や小児科同門会を中心に募られておりますが、当婦人会の継続的な寄付に対しまして、感謝のお言葉をいただきました。

懇談会終了後は、名越様・吉村様・大下様・松田様にご案内いただき、正門を出て徒歩約 1 分のところにありますファミリーハウスに参りました。大きな道路を一筋入った住宅地にあるため、静かで落ち着いたところです。

部屋は 2 階～5 階に個室(和室・洋室)があり、各階にはランドリールームが設置(無料)されております。バスルームは各個室内にありますが、家族で一緒に入浴できるよう大きな浴室も用意されています。最近は Wi-Fi 設備も施されたようです。

手入れも良くされており、利用者の皆さんに喜ばれていることでしょう。いつもは病室にいる子供さんにとっても、アットホームな雰囲気を味わってもらうことのできる、そんなファミリーハウスです。

宿泊料金は一泊 1,500 円と利用者の負担を考慮した金額設定です。寄付金でファミリーハウスが成り立っていると云うことを再確認し、今後も引き続きチャリティー支援が必要との思いを強くした訪問となりました。

（記：竹内路子）

広島大学病院ファミリーハウス訪問

2022.06.20(月)15:00-16:20

小児科学教授・岡田 賢先生を囲んでの懇談会風景

ファミリーハウス遠景

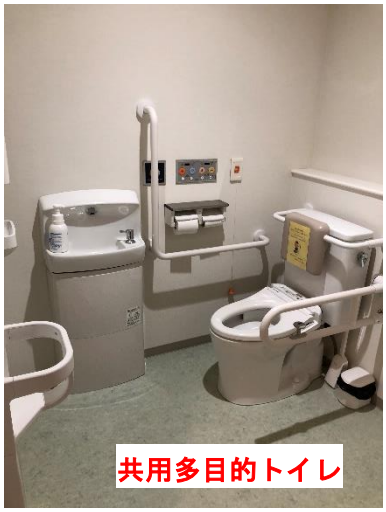
エントランス

多目的ルーム

個室ー和室

個室ー洋室

個室ーバス・トイレ



共用多目的トイレ

ランドリールーム